

会議録

附属機関又は 会議体の名称		第14回 豊島区景観審議会デザイン検討部会
事務局（担当課）		都市整備部 都市計画課
開催日時		平成31年3月28日（木） 午後3時00分～5時00分
開催場所		としま南池袋ミーティングルーム301
会議次第		<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>議事1：景観事前協議案件について</p> <p>議事2：豊島区景観形成ガイドライン（公共空間編）の策定について</p> <p>議事3：豊島区景観形成ガイドライン（建築物編）「雑司が谷地域景観形成特別地区」の策定について</p> <p>議事4：子供向け景観まちづくり講座の資料について</p> <p>報告1：豊島景観百選について</p> <p>3. 閉会</p>
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	後藤 春彦（早稲田大学大学院創造理工学研究科教授）・志村 秀明（芝浦工業大学工学部建築学科教授）・篠沢 健太（工学院大学建築学部まちづくり学科）・荒井 歩（東京農業大学地球環境科学部造園科学准教授）・加藤 幸枝（有限会社クリマ取締役）
	事務局	都市計画課長・都市計画課都市計画グループ
傍聴者		0名

審議経過

1 開会

2 議事

議事 1：景観事前協議案件について

(事務局)

資料の説明

(委員)

- ・ P 3 の 1 階平面図について、西側の植栽帯の脇に柱が建っているが、ここはピロティになっているのか。また、ピロティを通過して自転車置場に行く動線となっているのか。

(事業者)

- ・ そうである。この通路が避難経路となっている。

(委員)

- ・ 駐車場を利用するために、一度外に出るつくりとなっているのか。

(事業者)

- ・ 駐車場の中も通れるようになっている。
- ・ ごみの収集に関しても、反転コンテナを設置しており、ごみ置場から機械駐車場の脇を通過してターンテーブル横に置く形式で協議を進めている。

(委員)

- ・ パースには、図面が正式には反映されていないと認識して良いのか。
- ・ 例えば、P13 のパースでは、ガラスの脇、入口の脇にそれぞれ樹木が配置されているが、それらの樹木は図面上には存在していない。
- ・ P12 のパースでは、街路樹が 4 本あり、その奥の建物周辺には樹木はない。

(事業者)

- ・ そうである。店舗の外壁面から道路までが狭く、接道部緑化により植栽帯を 30cm 設けているだけで、高木はない。

(委員)

- ・ 本来は、P13 のパース通りに樹木があった方が望ましい。しかし、実際に樹木を配置するのは難しいと思うので、誤解を招かないようパースは修正していただきたい。
- ・ 措置状況説明書に「周辺のみどりと統一させる」という文言が出てくる。現況調査から、いくつか街路樹が見られるが、これらの街路樹の樹種は何か。

(事業者)

- ・トウカエデである。

(委員)

- ・「周辺のみどりと統一させる」とは言わない方が良い。
- ・街路樹のトウカエデは、工事中は抜くと思うが、復元をお願いします。

(事業者)

- ・切り下げの範囲に入るので抜くことになる。
- ・街路樹を単純撤去することはできないという旨を承知した。

(委員)

- ・2階の駐輪場にはバルコニーがある。P11では、その部分の壁面がクランクしているように見える。しかし、P13の見上げのパースではそうになっていない。

(事業者)

- ・扉の脇の線は手すりを表している。
- ・P13のパースの庇のラインがバルコニーの手すりの形で、奥に手すりがある。
- ・パースと図面の整合が取れていない部分は、扉が描かれていない点である。

(委員)

- ・2階の表情のない壁面が少しあっけないと感じる。3～5階は光るマリオンで個性を出していると思う。

(委員)

- ・P13のパースも正確なものであれば、もう少し全体的な指摘に繋がると思う。

(委員)

- ・P13のパースにL字の額縁のようなものが図示してある。これは正しいのか。

(事業者)

- ・図面上にはなく、図面の方が正しい。

(委員)

- ・歩行者目線で最初に目に飛び込んでくる部分には、丁寧なデザインが施された方が良いと思う。
- ・駐車場の部分はこういった表情になるのか。まち並みはその部分だけ歯抜けになってしまうのではないか。
- ・どうしてもサービスの動線は出てきてしまうものだが、今回はL字状の敷地のため、完全にまち並みが歯抜け状態になってしまうのではないか。

(委員)

- ・P16のパースについて、機械式駐車場の後ろには既存のビルがあり、もう少し壁のあるイメージにはなると思う。

(委員)

- ・お金のことを考えると難しいかもしれないが、入口部分にゲートがあるだけでも違っ

てくる。

(事業者)

- ・ゲートを設置した場合に、見通し角が確保できないと指摘されている。

(委員)

- ・駐車場部分はもしかすると怖い空間になるかもしれない。死角となるかもしれない。また、利用者が少なく、向かい側が公園で部外者が入ってきてしまうかもしれない。
- ・雰囲気も裏側の空間になっている。

(事業者)

- ・監視カメラの設置を予定している。駐車場の付置義務を満たすのが難しかった。

(委員)

- ・人の目がある雰囲気がつくれると良いと思う。

(委員)

- ・駐車場の向かい側の公園内にある建物は何か。

(事業者)

- ・駐輪場である。

(委員)

- ・アスファルトの色を工夫するなど、少しの工夫でも良いと思う。
- ・駐車場の両側の目隠しフェンスも、人が通ることを想定した工夫があると良いと思う。防犯の問題でもあるので、気を使った方が良いと思う。

(事業者)

- ・人気が無いところに利用者の少ないものを置くので、こちらとしても懸念している点である。

(委員)

- ・機械式駐車場の仕上げはドブ漬けとなっている。ドブ漬けは仕上げとしては悪いものではないが、見た目としては無機質な印象である。少しデザインされるとより良くなると思う。
- ・照明も明るめにした方が良いと思う。

(事業者)

- ・機械駐車場の仕上げはドブ漬け以外ではできない。

(委員)

- ・狭い敷地の中で植栽を考えるのは、苦労があると思う。西側にはシラカシとカツラを配置している。外側からあまり見えないにしても、耐陰性の強いものを選ばれた方が良いと思う。ピロティを通して見えることも考え、暗い印象にならないようにしたい。

(事業者)

- ・カクレミノや低木のアオキなど、耐陰性のある植栽の使用を検討している。

(委員)

- ・高さについて、天空率計算を考慮すると、おそらく、周辺の敷地にこの建物ほど高い建物は建たないと思う。今後も、周辺から突出した高さでそびえ立つことになると思う。
- ・屋上の設備は、立教大学から見えてしまうのではないか。立教大学からは距離があるので、遠景として、地上からの見えも考えた方が良く思う。

(事業者)

- ・図面上で、距離を設定し、離れた地点からの見え方を確認することができる。一度検討を行う。
- ・パーリングになると、高さに算入されてしまう。

(委員)

- ・ずっと、高さの突出した建物になると思うので、見え方に配慮して欲しい。
- ・西立面図を見ると各階にボーダーのようなデザインが施されているが、左側のみで右側にはない。このデザインには何か意図があるのか。

(事業者)

- ・デザイン会社も入って設計を行っており、意図まで把握できていない。

(委員)

- ・北側のデザインに力を入れているからではないかと思う。P15のパーズを見ると、西立面の右側にも左側と同じデザインが施されている方が、良いのではないかと思った。

(事業者)

- ・右側もバルコニーとしては左側と同様の仕様なので、検討する。

(委員)

- ・西立面の右側がより裏側感のあるデザインとなっている。周辺からの見え方を意識してデザインを考えて欲しい。

(委員)

- ・立面図について、手すりはアルミ手すり⑩、⑪の2色を使用している。これは既製品の色なのか。
- ・この色以外に選択肢はないのか。

(事業者)

- ・既製品であり、現在想定しているメーカーであればこの色になる。

(委員)

- ・手すりの2色は数値的に近似しており、それ程差がない。低明度、低彩度の色で、近くで見れば色の違いが分かると思うが、高層階ではどのくらい違いが出るのかと感じた。
- ・一般的には、上層階がすっきりとしていた方が、空に溶け込んで違和感がないとされている。中高層部をファサードとしてデザインしている。最終的に使うメーカーさん

をどうするのか、ばらつきは均等で良いのか、先ほどの遠くからの見え方の話もあったので、総合的に検証されると良いと思う。

- ・豊島区庁舎のルーバーのデザインは、上層部まで同様に施されているので、あのデザインと同じだという話になるかもしれないが、今回の建物は区のシンボルとなる施設ではなく、まち並みの中にある、あくまで住宅という位置づけという点も踏まえて考えて欲しい。

(委員)

- ・西側、公縁側の入口について、照明や防犯カメラを設置するという説明があった。それらの納まりやそこにデザイン的な要素を入れる可能性があれば、北側のエントランスのL字のデザインがピロティの部分も同じになっているとカッコいいと思う。意匠的な工夫で一体感が生み出せると良いと思う。
- ・車の進入防止のチェーンなどは設置されるのか。

(事業者)

- ・そういったものは設置しないので、入ろうと思えば入れる。

(委員)

- ・部外者が入り難いよう、この建物の一部であることが意匠的に分かれると良いと思う。

議事2：豊島区景観形成ガイドライン（公共空間編）の策定について

(事務局)

資料の説明

(事務局)

- ・P63について、景観計画に基づく事前協議が基本設計時に可能なのか内部で調整が必要。
- ・担当部署からは、設計が固まる前にする必要があるとの意見が出ている。

(委員)

- ・議事1の事前協議案件でも、既に設計が固まっており、できる範囲でやるしかないという話になってしまう。

(志村委員)

- ・特に公共施設では、年度ごとに基本設計、実施設計が発注され、計画の変更が難しい場合がある。

(事務局)

- ・調整する。

(委員)

- ・P2の公共空間の説明の中に歩道上空地という文言がでてくるが、イメージ図の中に歩道

上空地がないので、図示していただく。

- ・ P 13 の公園の事例が南長崎スポーツ公園に変わったと説明があったが、変更前の公園を位置づける必要があるのではないか。
- ・ P 39 の樹種選びの説明について、統一することが一概に悪い訳ではない。場所によっては統一することも必要である。「単一樹種にこだわらず、できるだけ多くの樹種を用いる」とあるが、「できるだけ」は削除した方が良いと思う。何でもかんでも入れてしまう人もいる。
- ・ P 62、63 の景観カルテの作成について、景観カルテ①と景観カルテ②がばらばらになっている印象を受ける。景観カルテ①が景観カルテ②につながるイメージになると良いと思う。
- ・ 方針はですます調で統一されているが、取組はですます調とである調が混在している。統一していただく。

(委員)

- ・ P 62、63 の 2 つの図は 1 つに統一した方が良いと思う。景観計画に基づく事前協議対象、ガイドラインに基づく協議対象、その他の施設の分けが必要かどうかでもっとシンプルな図にできると思う。

(事務局)

- ・ 検討する。

(委員)

- ・ P 62 の「景観デザイン評価の運用フロー」の①～④の数字に意味はあるのか。

(事務局)

- ・ 前ページの説明とリンクしている。

(委員)

- ・ 番号をつけると序列をイメージしてしまう。タグなのであれば文言の後ろに数字をつけたほうが分かり易いと思う。
- ・ 景観カルテに企画構想段階と設計段階の 2 つがあることが読み取れるようにした方が良いと思う。
- ・ 余白が大事である。目次について、文字の大きさと行間が一定で続いてしまっている。明朝体は文字の大きさを小さくして行間を縮めて、ブロックがはっきりと分かるように改行するともっと見易くなると思う。
- ・ P 2 の引き出し線の説明文を四角で囲ってしまうと絵が見にくくなってしまう。引き出し線は枠の外まで出した方が良い。絵は絵で見せた方が良いと思う。
- ・ P 46 の数字も直で書いた方が良いと思う。

(委員)

- ・ P 46 番号と言葉も一緒に入れた方が良いと思う。
- ・ P 51 について、「路上に設置する設備機器はシンプルで目立たない形態・色彩とする」と

あるが、電力のキュービクルに絵を貼るといった行為は駄目ということか。

(事務局)

- ・絵として貼っているのであれば良いと思う。

(委員)

- ・この文章からはそういったことが伝わらない。みんなが了解した上で貼るなら良い、期間限定であれば良いなどが伝わると良いと思う。

(委員)

- ・P10のタイトルは「景観の地模様を整える」とした方が良いと思う。
- ・P24について、「地域住民のニーズを捉えます」では、地域住民の声を聴くだけでなく、担い手になってもらうよう働きかけることが大事である。表現の仕方を工夫した方が良いと思う。
- ・P43、45の維持管理の部分の参考事例が少ない。もう少し入れられると思う。南池袋公園も事例になると思う。豊島区にはコミュニティガーデンの事例はないのか。

(事務局)

- ・公園の一部を住民の方で管理する制度があり、実際に運用されている。

(委員)

- ・そういった事例も入れると良いと思う。

(委員)

- ・ガイドラインをどう運用していくのかが大事だと思う。書けば書くほど自分達の首を絞めてしまう部分もあると思う。きめ細やかなガイドラインがあるからよい景観が形成されるわけではない。冒頭か終わりに、ガイドラインを基本にしつつ、問題が必ず出てくるので、担当者、設計者と相談しながら臨機応変に対応していくといった文言があると良いと思う。
- ・景観カルテに担当者が本当に言いたいことが一言書ける欄があっても良いと思う。

(委員)

- ・P64の景観カルテの説明がもう少ししっかりと書かれると良いと思う。
- ・P62、63の図には景観カルテをきちんとフィードバックしていくことを示していただく。

(委員)

- ・景観カルテと事前協議の措置状況説明書とのつながりを考えているか。景観カルテに記載する内容は措置状況説明書とリンクする部分があると思う。事業者にも面倒な書類を何回も書かせるのではなく、最終的に、景観カルテのこの項目を措置状況説明書のこの項目に流し込むという流れが分かるようになると良いと思う。そうすれば、事業者もないような熟度が上がっていくということが分かると思う。内部での認識を合わせておいた方が良いと思う。

議事 2：豊島区景観形成ガイドライン（建築物編）「雑司が谷地域景観形成特別地区」の策定について

（事務局）

資料の説明

（委員）

- ・ 事前説明の時の資料とはデザインが大きく変わっている。

（事務局）

- ・ 景観形成ガイドライン（建築物編）のデザインにあわせて最終形を作成している。

（委員）

- ・ 今後修正する余地はあるのか。
- ・ P 2 の冒頭部分など文字のバランスがおかしい部分は修正するのか。

（事務局）

- ・ これまでの景観形成ガイドライン（建築物編）のデザインと同じである。

（委員）

- ・ その他の地区と並べてみた場合に、「雑司が谷地域景観形成特別地区」の前に「建築物の基準」という見出しがあるのはおかしいのではないか。

（事務局）

- ・ P 2 の冒頭の「建築物の基準」の見出しを P 4 に移動させる。

（委員）

- ・ P 3 のまち並みの趣のエリア名にも A～D と入った方が良いと思う。

（委員）

- ・ 最新版の目次を差し込み、追録版がどの部分を抜き出したものなのか分かるようになると良いと思う。

（委員）

- ・ ケヤキのイラストを修正した方が良い。

議事 3：子供向け出前講座について

（事務局）

資料の説明

(委員)

- ・雑司が谷まちあるき学校のチラシにキックオフイベントとあるが、キックオフの後にはどのような取組みがあったのか。
- ・まちあるき学校やまちづくり講座などの取組みのつながりを見せられると良いと思う。ブランディングの話になるが、チラシのフォーマットにある程度統一感があったり、マークが同じであったりすると、豊島区がまちづくりに対して継続的に様々な取組を発信しているといったことが伝わって良いと思う。

(委員)

- ・ワークシートを作成し、記入式で行うと答え易いと思う。
- ・「いいと思った場所」を絵で描くのはハードルが高いと感じた。より設定を描き易いものにしてあげないと難しいと思う。もう少し絞ってあげると描き易くなると思う。

(委員)

- ・全員にデジタルカメラを渡して撮ってきてもらったことはある。撮ったものに対して、「なんで良いと思ったか」などの問いかけを行った。

(事務局)

- ・肖像権などは問題にならないのか。

(委員)

- ・議論の対象として写真を使用し、その場で処理する。
- ・子どもたちの目線で撮った写真は、見え方が違う。写真を撮ることで風景を切り取っている。何を撮ったのかを聞くことがポイントである。時間をかけて、気に入った場所を描いてもらうより、歩きながら気になった場所を切り取ってもらった方が面白いと思う。
- ・写真を撮る方が気楽にできる。
- ・気になった場所を写真に撮ってもらい、何が気になったのか、良いのか悪いのか、何をみつけているのかを聞いた方が良い。リターンは撮った写真ではなく、子どもたちのコメントである。
- ・子どもたちのコメントを地図に付箋で貼っていくことでビジュアル化もできる。

(委員)

- ・景観のことを子どものうちから考えてもらう意識づくりをすることはこだわって欲しい。
- ・染井地区を対象としてイベントではあるが、もう少し幅広く、区内の各場所で行えると良いと思うので、景観まちづくりへのこだわりをどういう風に出していくのかは考えて欲しい。

報告 1 : 豊島景観百選について

(事務局)

資料の説明

(委員)

- ・静止画はある一角しか撮っていない。適度にフレームを回しパノラマにすることは必要だと思う。最近では 360° が一発で撮影できるカメラもある。
- ・入口から入って中を進むとこんな景色といったシークエンスを見せることが、景観としてのムービーの特筆になると思う。
- ・お金をかければ、いいものはできると思うが、工夫の仕方があると思う。学生に頼むと安くできるのではないか。豊島区内の景観に強い学部の学生さんに 15 秒程度の短い画像を頼むなど、できないことはないと思う。
- ・鬼子母神堂であれば、入口から入っていくただのムービーでも良いと思う。
- ・季節感も大事である。

(委員)

- ・例えば P23 の概要の説明文は 2 行で終わっている。もう少し価値を説明する文章になると良いと思う。

(委員)

- ・説明は部局で書くのか、委員の先生に書いてもらうという方法もあると思う。

(委員)

- ・一歩先に行く豊島区なので、最先端を意識してもらいたい。
- ・THETA で撮影したものを掲載するだけでも違うと思う。
- ・明確に視点場から望むシーンは、写真で勝負できるかもしれないが、一方で場所の雰囲気、境界のようなものは、360° の写真の方が良いかもしれない。シークエンスを見せる場合には、歩いて、5 秒や 10 秒の動画でも良いので、視点場が連続していることを見せた方が良いと思う。

(委員)

- ・最近ではスマートフォンでも上下にぶれないような機能がついているものがある。

(事務局)

- ・検討する。

以上